

事務事業評価シート(多可町教育委員会)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課 社会教育課	課長名 内橋 茂	記入者 内橋 茂
事務事業名		新規・継続 ☐ 新規 ☐ 継続	事業開始年度 20 年度 H19以前	完了予定年度 年度 未定
「アスパル体操」リラックスバージョンの普及				
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯スポーツの充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
		☐ ソフト事業	施設の維持管理	
		☐ 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		☐ 建設・整備事業	計画などの策定	
ストレッチを中心にした簡単でどこでもできる体操の啓発、普及を推進する。		補助金の支給 委託 ☐ 全部委託 ☐ 一部委託 ☐ 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働かかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
社会スポーツ団体・体育指導員	町民	だれもが、いつでも、どこでも気軽にできる体操とし普及に努める。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>		会計名	一般	会計
細目名	保健体育一般事業	細目名		
予算 コード	款 項 目 節	予算 コード	款 項 目 節	予算 コード

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	19年度 決算	20年度 見込	21 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
コスト の内訳	総 コ ス ト	千円				
	直接事業費					
	所属内間接費					
	投入人員	正職員 嘱託員	人/年			
財源 内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源					

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	19年度 実績	20年度 実績	21年度 目標
1	普及・啓発	体育指導員、社会スポーツ団体の指導により指導を行う。	各公共施設CD配布		20	0	20
2							
3							
4							
5							

(ソフト事業)

6 事務事業の実績 <D0③>		事務事業名 [「アスパル体操」リラックスバージョンの普及]			
成果指標(意図の数値化)	単位	19年度実績	20年度実績	21年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
行政施設での実施	箇所	0	16	29	学校園を含めた施設、企業へのCD配布

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)							
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題			
必要性	需要への対応性	住民ニーズは		高い		高くない	○	把握なし			
		緊急性は		高い		○	高くない				
		利用者・対象者数は		増加		○	減少			横ばい	
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない		ある		○		把握なし	
	町の関与の必要性	民間の事業(サービス)との競合は		○	ない		ある				
国や県の事業(サービス)との重複は			○	ない		ある					
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		○	ない		ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		○	ない		ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		○	ない		ある			把握なし	
	連携の可能性	他課で類似の事業は		○	ない		ある				
		他の事業と統合できる可能性は		○	ない		ある			あるが困難	
民間や他の行政機関と連携できる可能性は				ない		○	ある		あるが困難		
市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は			ない		○	ある		あるが困難			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		○	ない		ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		○	ない		ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は		○	ない		ある				
		受益者負担を見直す余地は			ない		ある				
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで			ある		ない				
		前年より成果が上がって			いる		いない			横ばい	
	持続の可能性	継続することによる効果は		○	高い		高くない				
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて			いる		○	いない			測定困難
		事業の休・廃止による住民への影響は			大きい		○	大きくない			
市場化の可能性		既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○	委託化は不可能		
		市場化テストの導入について検討する余地がある			市場化テストの導入を検討する余地はない						
改善の可能性			1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある				
			3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要				

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>		今後の具体的な取り組み			
職場からの意見		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
(施策を取り巻く環境) 健康づくりのため、ストレッチを中心にだれもが簡単にできる体操を制作しました。		現状は十分な普及・啓発ができていない。機会あるごとにPRを行い、だれもが、どこでも、気軽にできる体操を継続していく。			
(課題の解決についての提案など) 学校はじめ町内各施設、企業等、また、町等が実施する大会等の開始前などに取り入れ普及・啓発していく。					
		自己評価		3.目標が達成されている。	
今後の方向性	1.重点的に継続	2.現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続	4.縮小を検討
	5.統合・連携を検討	6.休止・廃止を検討		7.終了・完了	